

## 平成 22 年度の体系別主な事業 (新規事業は★, 継続事業は☆)

### 1. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり

#### ★須恵・姫井・焼野保育園施設整備費補助事業 (2,145 万円)

保育所の児童数の増加や保育所機能の多様化に対応した施設整備を図るため、老朽化した園舎の増改築事業に対して、その一部を補助します。

### 2. 市民が主役のまちづくり

#### ★「女性の日」創設事業 (30 万円)

「女性の日」を創設し、男女共同参画社会をさらに発展させる契機とします。平成 22 年度においては、「女性の日」創設に係る記念事業を実施します。

#### ★ホームページリニューアル (700 万円)

市の公式ホームページを全面リニューアルします。これにより、利用しやすく、役に立つホームページとなるよう、その機能を最大限に活用し、内外への市政情報の発信に努めていきます。



▲誰もが利用しやすいホームページを作ります

### 3. うるおいのある快適なまちづくり

#### ☆新生町街区公園整備事業 (4,900 万円)

小野田湾岸道路の一部が供用開始されたことに伴い、市道の新設改良にあわせて早急な対応が必要である街区公園 (面積約 3,000㎡) を新設し、不足している地区住民のスポーツやレクリエーションの場を確保していきます。

#### ☆小野田浄化センター基幹整備事業

(2 億 3,555 万円)

合併特例債を活用し、2 つある浄化センターを統合するための事業を行います。山陽浄化セン

ターは貯留機能のみを残し、小野田浄化センターは山陽小野田市全域のし尿等を処理処分するために必要な機械設備の更新を主とした整備を行います。

### 4. にぎわいと活力にみちたまちづくり

#### ☆地域公益事業【山陽オート】(1,000 万円)

小型自動車競走事業の単年度収益の一部から地域住民の体育振興、福祉振興に寄与することを目的とし、公共施設のトイレのバリアフリー化、大規模改修などの補助事業を行います。

### 5. 人が輝く心豊かなまちづくり

#### ★山陽小野田市「科学博覧会 (仮称)」事業 (50 万円)

平成 18 年 2 月の山口東京理科大学との包括的連携協定の調印以来、連携協議会の新事業として年に一度、全市民を対象として「科学博覧会 (仮称)」を開催し、各種展示や実験コーナー、トークショー等を行います。継続的に開催していくことで、子どもたちの知的好奇心を喚起していきます。



▲厚狭小学校でのほんものの科学教室のようす

#### ★健康づくり推進計画ステーション事業

(30 万円)

「山陽小野田市 SOS 健康づくり推進計画」の情報ステーションとして、図書館の機能を発揮するため、医療情報コーナー等を充実し、さらに市内の病院と協議・連携して、入院患者やその家族に「適切な医療情報」を提供したり、入院中の読書支援を行ったりするための、病院施設への出前図書館や団体貸出などを行います。